

私の留学体験記

広島県立廿日市西高等学校 2年 松本 玲奈 (まつもと れな)

留学期間 平成30年2月24日～平成30年3月11日 (16日間)

留学先 Middleton Grange School (Christchurch, New Zealand)

私は約2週間ニュージーランドへ留学しました。最初は3か月の留学を望んでいましたが、家族と離れて海外で生活をするという初めての試みへの不安、そしてあと少しで受験生になるということもあり、2年生のうちに帰ってくることでできる2週間を選びました。留学が決まってからは、不安と楽しみの感情を交互に感じる毎日でした。

まず、私は現地までたどり着けるかということが不安でした。なぜなら私の場合、現地まで1人で行かなければならなかったからです。一人旅などしたことのない私にとって、これはとても大きな挑戦でした。しかし、実際に行ってみると問題なくクリアすることができ、自信を持つことができました。

それから2週間のニュージーランドでの生活が始まりました。私のホームステイ先には、私より少し年下の子どもが3人いました。特に一番下の11才の女の子は、毎日いろいろな遊びを提案してくれてたくさん一緒に遊びました。最初は少し緊張していましたが、彼女のおかげで少しずつ緊張がほぐれていったのかもしれない。そして、到着した次の日から早速学校へ通いました。ミドルトングランジスクールには日本人を含むたくさんの他国の学生が通っていました。校内でさまざまな言語が聞こえてくるという不思議な体験でした。日本人が中心でしたが少しずつ友達ができ、大変なことがある中でも楽しい日々を送ることができました。授業で印象的だったのは、キリスト教の授業です。日本の公立の学校では無い授業なので難しくはありましたが、新鮮さを感じながら楽しく受けることができました。

私は留学前、2週間という期間で何を頑張りたいか考えたとき、文化の違いを知ること、少し話せるようになること、そして、積極的になることだと考えました。実際終わってみると2週間は本当に早く、この目標を達成できたとは言えないかもしれません。しかし、いくつか使い方が分かった英語があったり、何と言っても、英語をしっかり話せるようになるろう、日本に帰ってももっと勉強していききたいなどという強い意志を持つことができたことが、この留学で得た最大のものではないかと思います。それは、ニュージーランドでできた友達から強い刺激を受けたからです。ほとんどの日本人は長期留学でした。しかも私よりも年下の生徒ばかりです。その生徒達に比べたら私なんてまだまだだし、私も、もっと長い期間留学してしっかりと力をつけたい、今回の留学の反省を兼ねてもう一度いつか留学を経験したいと思いました。2週間というとても短い期間でしたが、素敵な友達、家族と出会い、最後はみんなで涙を流せるほど濃い日々を送ることが出来ました。この経験で得たものをこれからも忘れず、無駄にしないように英語の勉強により一層力を入れて頑張っていきたいと思います。

